



令和5年度 福島県立郡山萌世高等学校 学校経営・運営ビジョン

校是	教育目標
自主 自律 創造	(1) 生涯にわたって自ら学び考える意欲を持ち、心身ともに健康で個性豊かな人間を育成する (2) 一人一人の生き方を尊重し、社会の進展に貢献できる心豊かな人間を育成する (3) 規律と責任を重んじる態度を身につけ、望ましい勤労観を有する人間を育成する

教育の基本姿勢・目指す生徒像等	
[教育の基本姿勢]	○ 生徒一人一人を真に大切にす教育（生徒が学校生活の主役であり、主人公である）
[目指す生徒像]	○ 自主性と自律心に富み、創造性豊かな人間
[スクール・イメージ]	○ 学ぶ意欲のある人が、自由に学べる学校（「学びの自由」に満ちた学校） ○ 誇りを持つことができる学校 ○ 夢を実現できる学校 ○ 明るく楽しい学校

スクール・ミッション（①社会的役割 ②目指す学校像）

定時制課程	① 多様な学習スタイルの中で、自ら学び考える意欲を伸ばし、これからの社会を生きるために必要な確かな学力と豊かな人間性を身に付けた、社会で自立し、地域を担う人材を育成する学校 ② 生徒の多様な学びや援助ニーズに対応した個別支援教育や社会人向けの科目履修制度の充実を図ることで幅広く学びを保障するとともに、生徒一人一人を真に大切にす教育を目指す学校
通信制課程	① 学ぼうとする人の生活状況や学習歴に合わせた主体的な学びを通して、これからの社会を生きるために必要な確かな学力と豊かな人間性を身に付けた、社会で自立し、地域を担う人材を育成する学校 ② 多様な背景や援助ニーズを持つ生徒や、幅広い地域・年齢層の生徒を受け入れながら、学び直しや個に応じた丁寧な指導・支援を行うことで、生徒一人一人を真に大切にす教育を目指す学校

個別支援教育の推進

校長 田母神 賢一

本校は、2001年4月、「世に萌え出づる」という願いを校名に込め、全国にも例を見ない駅前ビルの中の高校として開校しました。開校当時より、「生徒一人ひとりを真に大切にす教育」を基本姿勢として、学びたいと思う人が自分に合った学び方で学べる学校づくりに取り組んできました。

「真」に大切にすためには、システムにおいても、学習内容や指導方法においても、不登校や人間関係でのつまずき経験など、多様な援助ニーズを持つ生徒一人一人に寄り添った教育が求められます。

そのため本校は、午前10時すぎに登校する定時制課程・昼間主コース、夕方に登校する定時制課程・夜間主コース、日頃は自学自習し、主に日曜日に通学する通信制課程、さらには社会人のための科目履修制度等、学ぼうとする人の生活状況や経歴に合わせて様々な学び方ができるシステムを持っています。

こうした特色あるカリキュラムのもと、中学までの「学び直し」など学びの状況に応じた指導や個別相談の充実、医療や福祉等を含めた関係機関との連携等により、本校ならではの個別支援教育を組織的に推進することで、生徒が自信と誇りと将来への希望を持って、笑顔で卒業できるよう支援するとともに、社会で自立し、地域を担う人材を育ててまいります。

イメージキャラクター
「萌使(もえし)ちゃん」


令和5年度の重点目標			
定時制課程	学ぶ意欲の向上と基礎学力の定着	進路希望の実現	社会的資質・能力の育成
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びに向かう環境の整備（「授業心得」の周知徹底、教室などの整理整頓、施設・設備の安全点検の徹底） ○ 少人数授業や習熟度別授業等、個に応じた授業の展開 ○ ICT活用や観点別評価の実施等による「学びの変革」の全校的な推進 ○ 校内外の研修を実施・奨励し、生徒の特性を理解した上での学習指導・支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路意識の高揚と具体的な進路目標設定に向けた段階的・計画的な進路指導の実施 ○ 個性・特性等に応じた面接や進路相談の実施 ○ 資格・検定試験の奨励と個別指導の実施 ○ 「進路だより」「手引き」の活用や進路説明会等の開催による進路意欲の喚起と、家庭との進路情報の共有化 ○ 大学等合格者・就職内定者への継続的なフォロー指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規範意識の醸成・基本的生活習慣の確立に向けた指導とともに、生徒が自ら考え、実践する教育活動や校内ルールづくり等への積極的支援 ○ 生徒会（支部活動）・委員会活動、部活動の活性化 ○ 校内外行事等に係る体験的な活動への参加支援 ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との協働の強化（個別相談、個別支援教育推進委員会の開催、ケース会議、関係機関との連携等） ○ ホームルーム活動や総合的な探究の時間等を活用した、コミュニケーションスキル、ソーシャルスキル向上のためのプログラムの研究開発と実践
通信制課程	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲の喚起や難易度に配慮した適切なレポート作成や提出レポートの丁寧な添削指導の実施 ○ 貴重な対面の場であるスクーリングにおけるICT活用や観点別評価の実施等、「学びの変革」の推進 ○ 自学自習の成果が反映される適切な試験問題の作成 ○ 校内外の研修を実施・奨励し、生徒の特性を理解した上での学習指導・支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ レポート提出期限の厳守・スクーリング出席・定期試験受験の「三本柱」に係る指導の徹底 ○ ホームルーム時の指導や「萌世通信」「学年だより」等の活用、個別相談等による、学業継続に向けた激励・指導助言の実施 ○ 「進路だより」「手引き」の活用や進路説明会等の開催による進路意欲の喚起と、家庭との進路情報の共有化 ○ 大学等合格者・就職内定者への継続的なフォロー指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校ホームページや「note」、通信連絡網等を活用した、定期的な情報発信 ○ 授業参観など保護者が来校する機会の設定【定時制】や三者面談の充実 ○ 体験入学や学校見学等の実施 ○ 「萌世通信」の定期発行【通信制】

※ 社会的資質・能力とは
自己理解力、自己効力感、コミュニケーション力、思いやり、共感性、人間関係形成力、協働性、課題解決力など（「生徒指導提要」より）